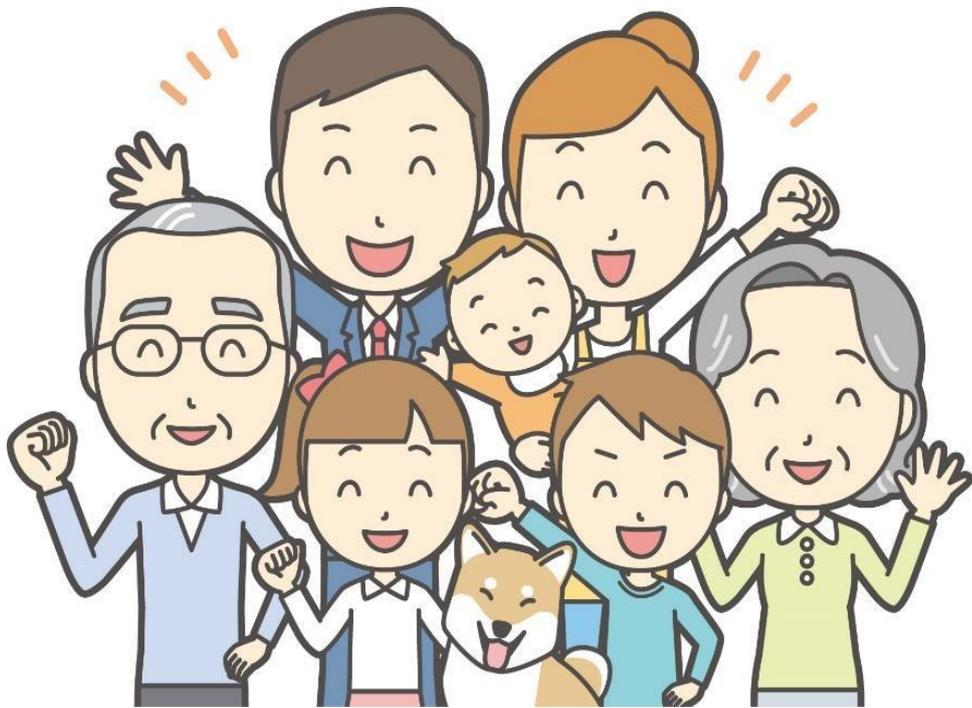


幸福を育む住まいの作り方

家相学読本



陰陽思想講座

はじめに

「幸福を育む住まい」とはどのような住まいでしょうか？

経営は陰陽思想を基本とした真理を取り入れることにより、経営の安心感が得られます。その陰陽思想により考えられたものが家相学です。

家相は風水と言われる内の『スモール風水』と云われます。『ラージ風水』は、京都、東京などの都市設計に活用する地相学のことです。この地相学と家相学について学びましょう。

「一生に三回造らないと、満足する家は造れない」と言われます。特に最近は様々な建築工法、材質、デザインなど多種多様な住宅があり、どの家が良いか迷ってしまいます。また、「家を建て替えるほどではないが住みにくい」「建築資金が足りない」などの理由でリフォームするにしても「どこをどうしていいかわからない」「どこに頼んでいいかわからない」など、不都合を感じながらも我慢の生活をされている方も多いと思います。

私は 26 才からリフォーム会社、建築会社、不動産会社を経営、あらゆる住宅のリフォームや新築に携わってまいりました。その間、家相学による設計施工を研究、実践してまいりました。その結果、家相がそこに住む家族の幸福を左右することがはっきりしてきました。そのため、自社所属の建築士に対し「お客様の言う通りの間取りを作ってはけない」と厳命、全てに家相学に基づく設計をして参りました。

その 20 年以上の経験から、住い造りは家相学に基づけば失敗しないことを確信、今日まで様々な所で説き続けてまいりました。本章はその基本的な考え方をまとめたものです。

これからリフォームを考える方、新築を考える方の参考にして頂きたいと思います。

令和 7 年 5 月 8 日

2 級建築士 家相研究家

古川益一

目次

はじめに	1
1. 家族仲良く幸福に暮らせる住まい.....	3
理想の住まいとは？	3
家相学による設計とは？	4
2. 住い造りの基本は間取り.....	5
間取りの考え方	6
気象衛生学上の間取りの考え方	7
家相ワンポイントアドバイス.....	8
CHECK1. 家全体は長方形がベスト.....	8
CHECK2. 家と道路の関係で玄関が決まる	9
CHECK3. 我が家の顔、玄関は南東か北西へ.....	10
CHECK4. 水廻りとリビングは陰陽で分ける.....	11
CHECK5. 家族団らんの空間は東から南西へ	12
CHECK6. 主婦の要、キッチンは東へ	13
CHECK7. 主人の威厳を保つ主寝室・書斎は太極（北西）へ	14
CHECK8. いつまでも元気に長生き出来るお年寄り室は西へ.....	15
CHECK9. 我が家の宝を育む子供部屋は東へ	16
CHECK10. トイレは陰（北側）へ.....	17
CHECK11. 浴室・洗面室は陰（北側）へ	17
CHECK12. 収納室は陰（北側へ）	17
敷地の選び方	18
2 階の乗せ方	19
敷地と家の配置.....	19
地相学による理想の土地	20
家相学による家相診断（悪い例）	21
間取りプラン集	22

1. 家族仲良く幸福に暮らせる住まい

理想の住まいとは？

理想の住まいを考える時、どのようなイメージを浮かべますか？ 素敵なデザイン、地震に強い頑丈な家、快適な生活、最新の浴室・キッチンなど、夢を膨らませるものと思います。建築会社も競って快適な住まいを研究しており、住宅展示場へ行けば容易にイメージすることもできます。

しかし、新しい生活を夢見る反面、建築後の予期せぬ一面を心配することもあるものと思います。理想の住いとは、家族全員が満足し、仲良く幸福に暮らしていける家に他なりません。その理想の住まいをハード面だけでなく、ソフト面からも考えてみましょう。

▶▶▶ 春夏秋冬の自然と調和する家

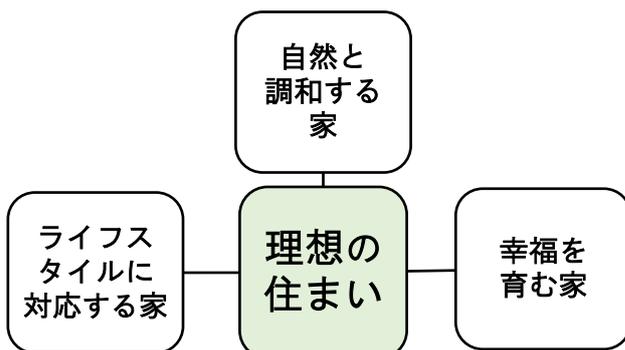
- ① 夏涼しく冬暖かい家
- ② 朝日から夕陽まで効率よく太陽の光が差し込み、風が流れる家
- ③ 湿気が籠らない家

▶▶▶ 家族楽しく幸福を育む家

- ① 主人を中心にまとまる家
- ② 家族団らんが自然に出来る家
- ③ 子どもがのびのび育ち、お年寄りが健康で長生き出来る家

▶▶▶ 建築後も、家族のライフスタイルに柔軟に対応できる家

家族は成長するに従いリフォームする必要性が出てきます。子供部屋を増やしたい、リビングと台所を一つにして大きく使いたいなどです。その時のため増改築が出来るように最初から考えて設計したいものです。



家相学による設計は、これらそれぞれの条件を満たすことに繋がります。

家相学による設計とは？

家相学を一言で言うと「家の中の気の流れを整える」ということになります。つまり「日当たりが良く、風通しが良く、湿気が無く、使い勝手の良い家」ということになります。

▶▶▶ 設計のポイント

- ・ 陰陽のバランスを考える。土地と建物、建物内の陰と陽のバランスを考える
- ・ 太陽エネルギーをいかに効率よく取り入れるかを考える
- ・ それぞれの部屋の風が流れるようにする
- ・ 各部屋の特성에応じて最も良い環境に当てはめる
- ・ 合理的な設計、つまり動線などを考える など

戦前の住まいは、大工さんが伝統的に伝わる間取りによって造られてきました。古い家を見れば分かるように、どの家もほとんど同じ間取りに作られています。「巽の玄関」「乾の主寝室」そして必ず南向きなどです。

南北を 北を背にして 眺めれば 南の中に 幸があるなり

南を開けることにより、幸せな家になるイメージです。間違っても南を壁にすることは許されません。

そして東西も詠んでみましょう。

東西は 木の間から 日が昇り 西に落ち行く 茜空かな

木の間から日が昇ると書いて「東」と読み、草に落ちて茜空となります。つまり、太陽と共に暮らすイメージです。このように住まいは自然と溶け込むことを教えられてきました。

しかし、昭和24年に現在の建築士法が制定されてから、家相学が迷信のように扱われてしまい、多くの家庭を不幸に陥れてきていることは残念です。もっと家相学というものを幸福になる知恵として研究しなければならないと思います。

2. 住い造りの基本は間取り

どれほど立派な家でも、デザインが優れていても、間取りが悪くて住みにくかったら価値がありません。

住み易く、家族仲良く、健康に暮らすためには、どんな間取りにすれば良いのか？

その間取りの基本になるのが「家相学」です。



▶▶▶ 住まいは一番大きな衣服

あらゆる動植物は、太陽の恵みを受けて成長しますが、私たち人間も同様です。太陽は東から上り西に沈みます。また、春夏秋冬により日照時間、温度や湿度など毎日変化しています。私たちはその変化に応じて、衣服を替え、また、調整して生活しています。

その中で住まいは、私たち人間がまとう一番大きな衣服であり、動物に例えると「巣」でもあります。したがって、気候に適応し、快適かつ健康的な生活を共にできる住環境を構築することが重要となります。

家相を迷信と捉えたり「家相をきにしたりしたら機能的な家はできない」などよく言われますが、そうではありません。「家相学なくして理想の家はできない」といっても過言ではありません。頑丈な家、地震に強い家、自然素材の家などはとても大切な住まいの条件ですが、間取りが悪ければその価値は半減してしまいます。この家相学の考えを取り入れ、理想の住まいづくり、幸福を育む住まい造りを考えましょう。



間取りの考え方

▶▶▶ 夫婦仲良く、親子仲良く、家族中が健康に恵まれ、仕事に恵まれ、お金に恵まれ、希望を持って長生きできる家

これらが叶う、幸福を育む住まいを考えることとなります。その基本は間取りです。いかにして自然と調和する間取りを作るか？その基本の考え方が家相学です。

玄関	家の顔として大きからず小さからず、バランスがとても大切です。そしてお客様が入り易い方位に造ります。前面の道路が南向きは「南東」北向きは「北西」です。
リビング	家族団らんの場所として家の中心且つ自然に家族が集まる明るい場所として南に造ります。キッチンとリビングが一体となったリビングダイニングとして大きく住みたいものです。
キッチン	キッチンは主婦が朝一番に立つ場所として朝日が入り且つ、日中は涼しい方位に設けます。家族全員で食事がおいしく、楽しく食べられる場所、更に火事になりにくく食べ物が腐りにくい方位であることも重要です。
主寝室	一家の主が中心となって家族がまとまる家、その主が威厳を保てる方位に設けなければなりません。太極となる北西方向です。
お年寄室	健康で長生きが出来る方位に住んでいただきます。南では太陽の光が強過ぎるため、西側が適します。
子ども室	心身共にすくすく育ち、親孝行な子供になる方位、又は落ち着いて勉強ができる方位を考えます。東側が向いています。
水廻り	湿気が多い場所です。水蒸気が発生し、家の寿命を縮める様な方位である南西方位は絶対に避けなければなりません。南北に分け北側に作ります。
廊下階段	廊下の取り方により、家族の交流が無くなるようなことも起こります。慎重に考えるべきです。家の真ん中に作ると家族を2分する為、親子不仲の相といわれます。
収納室	日照を妨げるため、北側におきましょう。鬼門の北東が適しています。

このように理に叶った間取りを考えましょう。次頁は気象衛生学上の家相の考え方です。

気象衛生学上の間取りの考え方

家相は、太陽の光をいかに効率良く取り入れるか、という気象衛生学的な考えを持った間取り造りの方法で、大変、理屈に叶った考え方です。この表は「太陽の運行と各時間の方位への影響、それに対応する間取りの考え方」です。

太陽の進行と方向の影響

【北西】

- ・太陽が沈み、一日の収穫を表す場所。
- ・ここに主寝室を置くことにより家長を中心とした一家の和、団らんが生まれる。

【西】

- ・西陽が入る場所。
- ・西陽はほこりなどが舞い上がった空気を通して入ってくる為、やわらかく、夕方暖かい。
- ・老人室に適する。

【南西】

- ・裏鬼門＝病門と言はれる。
- ・午後2時からの陽射しで特に熱くなる場所。食べ物が腐りやすくなるのでキッチンはやめた方が良い。
- ・浴室、トイレなどの水気のあるものを造ると水蒸気が発生し、家を湿気させ病気になるといわれる。
- ・居間、居室に最適

【北】

- ・終日、陽が入らない場所。
- ・一家の背中として支える場所。
- ・落ち着く所として書斎が理想的。勉強が好きな子供の部屋にも適する。
- ・北側道路の玄関は北西方位にしたい。
- ・南側道路の玄関は南東にしたい。

【北東】

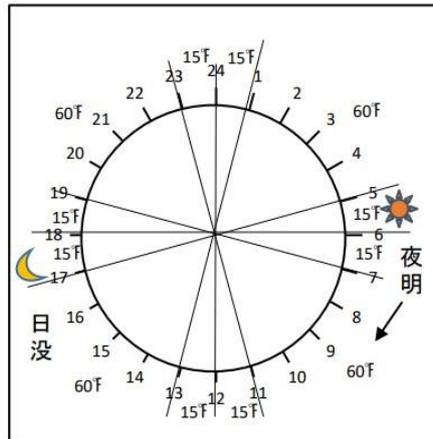
- ・鬼門と言はれる場所
- ・陰気で暗く顔となる玄関は避けるべき場所
- ・倉庫。納戸に適する。

【東】

- ・朝日が当たり、日中涼しい場所として台所が適する。
- ・朝の強烈な太陽は元気な子を育てる。
- ・2階には子供部屋を配置したい。

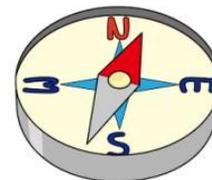
【南東】

- ・全てにおいて最高の位置。
- ・「巽の玄関」と言はれるように、玄関を配置したい。



【南】

- ・日中、日が入り続ける場所。
- ・リビングとして一家の団らんの場所として最適。
- ・最も避けるべきは玄関。南に玄関を設けると中廊下となり家が分断され家族の和も二分されやすい。



- ・ 東西南北は 30°、北東、東南、南西、北西は 60°です
- ・ 太陽の昇る時刻、没する時刻は、夏と冬で 30°の間隔があるようです

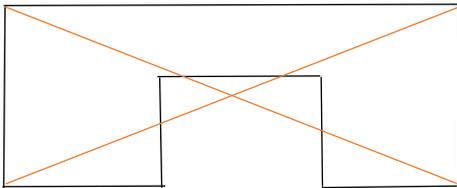
家相ワンポイントアドバイス

CHECK 1. 家全体は長方形がベスト

新しい団地などを歩くと、様々なデザインの家が並び見ているだけで楽しい気分させられます。家の形はデザインに凝れば凝るほど美しく変化していきますが、住み易くなるとは限りません。

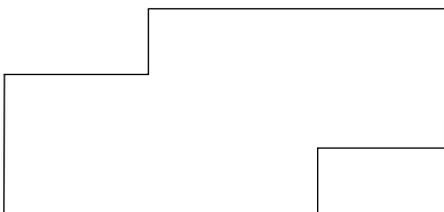
家相学に基づいて家造りを考えると、東西南北それぞれの方位に意味があり、キッチンや主寝室など、納まるべきところに納まらなると家族の幸福に影響が出てきます。家の形が変化すればするほど、デザイン性に富み、見映えが良くなりますが、それに反比例して住みにくくなると共に、家族の幸福に影響が出るものです。

① 中心の無い家



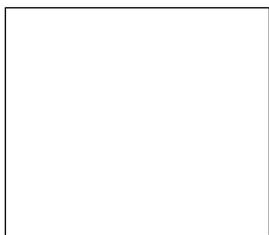
様々なデザインがある中で「中心がない家」は特に問題です。図のように対角線を引いたとき、その中心が外部になってしまうような家は「中心のない家」となり家族がバラバラになりがちです。

② 北西又は南東が欠けた家



方位の中で吉方向とされるのは南東(巽)と北西(乾)方向です。この方位は玄関方位として良い人達を迎えるところです。それを欠けることは絶対に避けましょう。

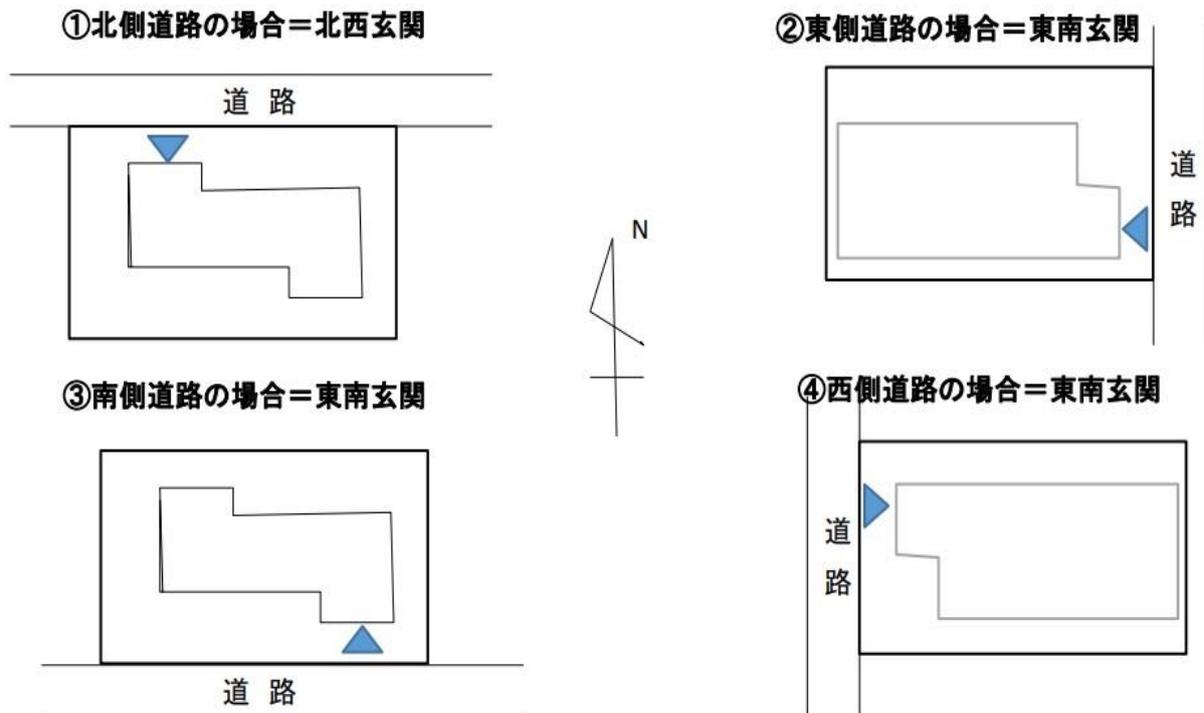
③ 正方形の家



正方形の家は四角錐の屋根となりピラミッドと同じ形となります。そこに住まう人達に、ピラミッドパワーと言われる力が働くと言われ、避けたい形です。

CHECK 2. 家と道路の関係で玄関が決まる

道路に面している方位に応じて玄関の位置を考えましょう。基本は東南（巽）又は、北西(乾)です。東西南北のどこに位置するか？によって玄関を考えます。



玄関は家の顔です。引っ込めるよりも玄関ポーチとして軒を出して造りましょう。善人、良人が入りやすい家を造りましょう。なお、店舗の場合、東南は不特定多数のお客様、北西は特定少数のお客様に好まれると言われます。

家相 One ポイント

全国どのお城へ行っても天守閣は「大極」と言われる北西にあり、門は巽（東南）に造られています。同じように家相の間取りの中でも特に重要なのは、主人の寝室を太極に置き、玄関を巽又は乾方位に設ける事です。



CHECK3. 我が家の顔、玄関は南東か北西へ

『家の顔』としての玄関は明るく、入りやすく、誰をも優しく迎え入れてくれるような雰囲気大切です。その場所はどこが良いか考えてみましょう。



【玄関】に不向きな場所とは？

北東の玄関

まず、最も嫌われる場所が「鬼門」といわれる「北東」です。「北東は一日中太陽が当たらず、陰気で暗い場所だからです。従って「暗い心を持った人」が訪れると言われます。警察白書にも、東北は泥棒の最も侵入率の高いところとしてデータが残っています。この場所に引っ込めて【玄関】を造ると更に運気が悪くなると考えられます。

南側中央に玄関

南側中央に玄関を配置する家を多く見受けますが、良い家相とは言えません。確かにこのような家は左右対称で美しく、どっしりとして見えます。しかし、家の真ん中に玄関があると、どうしても中廊下を作ることになり、家族の交流が隔てられることとなります。これを【親子不仲の相】といいます。

南西の玄関

南西は、午後の太陽で明るい家にしてくれます。しかしここに玄関を作ると、折角の陽射しを遮ることになります。

【玄関】はどこに造ればいいのでしょうか？

それは昔から言われる【巽の玄関】＝「東南」です。「東南」は「日当たりがいい」「家族団らん」の場所を邪魔しない「最高の場所」です。この場所に【玄関】を造ると先客万来の幸福な家庭が作られると言われていています。但し、道路関係などでこの場所が難しい場合は「北西」になります。「北西」は「東南」に次ぐ良い場所とされています。地形上、難しくてもどちらかに寄せて造ることをお勧めします。城の玄関は必ず巽の方角に造られています。間違っても「東北」に造ることはありません。

CHECK4. 水廻りとリビングは陰陽で分ける



陰陽思想による設計は、陰と陽の相対関係から決めていきます。

「水廻りは陰」「リビングは陽」

家を北側と南側に分けると、「北側が陰」「南側が陽」となります。南側は温度も高く、水廻りを南側に配置すると水蒸気の発生により、家を湿気させることとなります。このことから、南西を裏鬼門、または病門と呼び、台所やふろ場を置くことを嫌います。

▶▶▶ 暮らし良い家は北（陰）を向くか、南（陽）を向くか

お住まいは北を向いていますか？南を向いていますか？建物全体ではなく、家族が集まるリビングです。家相学は大変重要です。家相学は五行思想により設計しますが、家相を観る時の基本は陰陽思想です。

陰陽思想の北と南の位置は大変重要です。住まいを東西に分ける北側が陰、南側が陽になります。北側は陰ですから、水廻り（風呂、トイレ、台所）を置きます。南側は陽ですから、リビングを置きます。そして南側の窓は必ず掃き出しとします。この考え方が家相学による間取りの出発点です。

南北を 北を背にして 見るなれば 南の中に 幸があるなり

南という文字をよく見ると、幸せという字が隠れています。この南北の関係を押さえるだけで良い家相となる筈です。

家相 One ポイント

日本一の山「富士山」の大沢崩れをご存じでしょうか？大沢崩れは崩壊が進み、止めることが出来ません。大沢崩れは南西にあり、昼夜の寒暖差が大きいため、土壌が劣化することにより起こっている現象です。

現在、南西側 11カ所で砂防工事が行われています。このことから分かるように南西方向の水廻りは裏鬼門と言われることが理解できると思います。

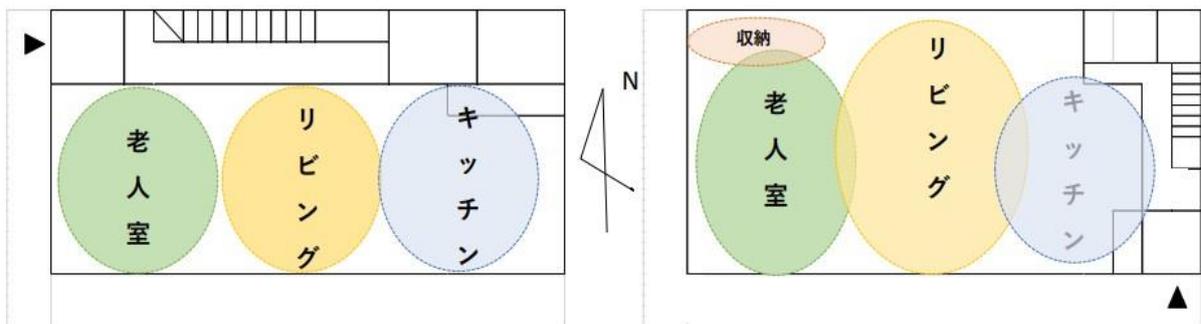


CHECK5. 家族団らんの空間は東から南西へ

リビングは家の最も陽当たりの良い場所、南に配置しなくてはなりません。家の中心となるところで、東に台所、西に年長者の室を設け、一階を広く使いたいものです。ところが玄関を南側中央に造ると、中廊下となり、家が二分され、狭くなります。

それだけでなく、家族が一堂に会する機会が減り、親子不仲の家庭になりがちです。

キッチンとリビングが繋がり、さらに西側にはお年寄りの部屋を設けることにより、食事の度に一家団らんの出来る場所としたいものです。



西側道路の例

東側道路の例

家相 One ポイント

昔からの家は、大黒柱を中心に田の字型の間取りで造られていました。各部屋は建具で仕切られ、多くの人が集まる時には建具を取り払い、大空間を作ることもできたものです。従って、キッチン・リビング・老人室（又は客間）を繋げて作ることにより、大きく使いましょう。台所を食事する場所として6帖間で食べて他でくつろぐ間取りの場合、食事を全員で楽しむことが出来にくくなります。そして台所から洗面室、浴室への動線も考えましょう。

CHECK 6. 主婦の要、キッチンが東へ

キッチンは住まいの中で最も長い時間使う場所です。主婦の要であり、住まい全体の要でもあります。そして、家族の笑顔の基、美味しい食事の生まれるところでもあるのです。それではキッチンはどこに造ればいいのか、理想を考えてみましょう。



▶▶▶ キッチンとして求める要素 これらを満たす場所を考えましょう

- ・ 食べ物が腐りにくい → 日中涼しい場所
- ・ 火事になりにくい → 酸素量が多く、不完全燃焼しにくい場所
- ・ 冬場、朝食を作るのが辛い → 朝日が当たって温かい場所
- ・ 食事が美味しく食べられる → 朝食をすがるすがるしく食べられる場所

キッチンが家族団らんの要

つまり、最適解は、朝陽が入り、日中は涼しくなる場所として『東』ということになります。キッチンを東に造り、リビングを南に配置して、これを繋げることによって、食事を中心とした団らんの場となり、楽しい我が家の基礎がつくられていきます。

キッチンを独立して作ると食べるだけの場所となります。キッチンと居間を繋げるとダイニングキッチンとして家族中で食事の時間を楽しむことが出来るからです。



家相 One ポイント

キッチンの場所として避けたい場所を考えてみましょう。

最適な場所は東から南東です。逆に最も避けたい場所は南西です。午後 2 時に太陽が昇り、最も熱く、食べ物が腐りやすくなるからです。そして北西に作ると主婦中心の家族になりがちです。北西は「太極」と言われそこに位置する人が中心になるからです。

CHECK 7. 主人の威厳を保つ主寝室・書斎は太極（北西）へ

家族が幸福に、そして団結するには何といたってもお父さんのリーダーシップが必要です。お父さんが威厳を持ち、リーダーシップを握れる場所、要するに主寝室の場所が重要です。即ち、最も落ち着く場所に主寝室を置かなければなりません。



家の中心は太極（北西）

家の中心は当然、真ん中になりますが、窓がありません。それではどこが中心なのか？収穫、実りを表し、最も落ちつく場所、それは日が沈み、落ち着いた時間帯に太陽がある位置、つまり「北西方位」です。「北西方位」は『太極』と言われ、家の中心を表します。不思議な事に、この位置の部屋に住む人が家の中心の立場になっていくと言われています。

住宅・・・太極に主寝室または書斎を置かなければ和のある家庭ができません

例えば、娘が“なぜか嫁に行かずに困っている”など、間取りをみると娘さんの部屋が北西に位置するケースが多いものです。キッチンが北西にあると、やはり、奥さん中心の家になっていくものです。

事務所・・・太極に社長室を置かなければ団結が生まれません

社長を中心に、一心同体となってまとまっている会社の社長机や社長室の多くは、太極と言われる「北西」に置かれているものです。

家相 One ポイント

ある不動産会社を訪ねたとき、住宅の平面図を見せられました。その平面図を見て「この家はご主人のいる場所がありませんね」と何気なく言ったところ。隣にいた人が「なぜわかる？それは私の家だ。その通りだ。そのため売却をお願いしているのだ」と言われました。そのように太極を重視する事は幸福な住まいづくりの条件です。

CHECK 8. いつまでも元気に長生き出来るお年寄り室は西へ

おじいちゃん、おばあちゃんにはいつまでも元気で長生きしてもらいたいものです。

その為の「お年寄り室」として最適な場所とはどこなのでしょう？「南向きの日当たりの良い場所」と答えが返ってきそうですが、はたしてそれは正解でしょうか？

お年寄りには柔らかい光が必要

お年寄りには強い太陽の日差しよりもやわらかい光が適しています。

例えば、真夏の午後、枯れかかったお花に水をかけると枯れてしまう事があります。これと同じ原理で、生命力の弱くなったお年寄りには、南からの陽射しは強すぎ、耐えられないのです。同じ太陽でも、朝日のような強い陽射しではなく、夕方になり、やわらかくなった大気を通して伝わる夕日の方がお年寄りには優しいということです。

お風呂の新湯はお年寄りには刺激が強すぎて適さない、という事と同じ理屈です。さらに、お年寄りは早寝早起きです。つまり夕方、温かい場所の方がよく眠れるという事になります。

従って、やわらかな陽当たりと夕方、温かい場所『西』が適すことになります。



家相 One ポイント

お年寄りには西日が必要であっても、夏は強烈なのでその対策が必要になります。西側窓は腰高窓にしましょう。窓は掃き出しと腰高の2つの形があります。腰高窓とひさしを付けることにより強い日差しを和らげることになります。そして落葉樹を植えたり、すだれをかけたりして調節してあげる工夫が必要です。最適なのは和室の障子です。洋室ならばカーテンを活用しましょう。

CHECK 9. 我が家の宝を育む子供部屋は東へ

子供は両親のかけがえのない宝であり 希望です。さて、あなた自身、その子供がどの様に育っていく事を願っているのでしょうか？

- ・ 勉強して良い学校へ行き、一流会社へ就職してほしい
- ・ 自身の才能を活かせるところで働かせてあげたい
- ・ 素直な明るい元気な子供に育てほしい
- ・ 早く良いところへ嫁がせ仕合せになって欲しい



様々な親の希望があると思います。それでは、子供を育む部屋を置くのに最適な場所はどこでしょうか？

子ども部屋は東か北か？

昔からの常識で「子供部屋は東」と言われます。東は朝、強烈な太陽の陽射しが差し込み、活発な場所であり、育成に最も適した場所であるからです。

「子供は風の子」と言われ、外へ出て活発に遊ぶことが子供らしいと言われてきました。しかし、最近は小学生でも勉強しなければならなくなってきました。

となると、東は活発なエネルギーが満ちているため、逆に落ち着かず、勉強に不向きであるとも言えます。勉強するには落ち着く場所である「北側」、活発な子ならば「東側」が適することになります。

勉強する場所と憩いの場所を別にする、という事も一つの方法かもしれません。

家相 One ポイント



子供部屋で不向きな場所は『太極』と言われる「北西」、主人の座です。ここを子供部屋にすると、良くも悪くも子供中心の家庭になりがちです。逆に、主寝室を東にすると、落ち着かない子どもになっていくものです。

CHECK10. トイレは陰（北側）へ

トイレは臭気が発生しやすい場所です。臭気がリビングへ入らない場所を選ばなければなりません。昔から東司と言われるように東方位が最適です。東は台所があり、その台所を邪魔しない場所を選びます。基本は陰(北側) に作り、陽(南) は避けましょう。



家相 One ポイント

窓のないトイレを設ける事は絶対に避けたいものです。マンションではどうしても窓のないトイレができてしまいますが、一般の住宅は絶対に避けましょう。

CHECK11. 浴室・洗面室は陰（北側）へ

水分が多い所であり、水蒸気が発生し、家全体を湿気させる場所です。従って温度が上がらない所を選ばなければなりません。特に南西・南は避け北側に造りましょう。そして主婦の動線を考え、キッチンと関連付ける事が重要です。



家相 One ポイント

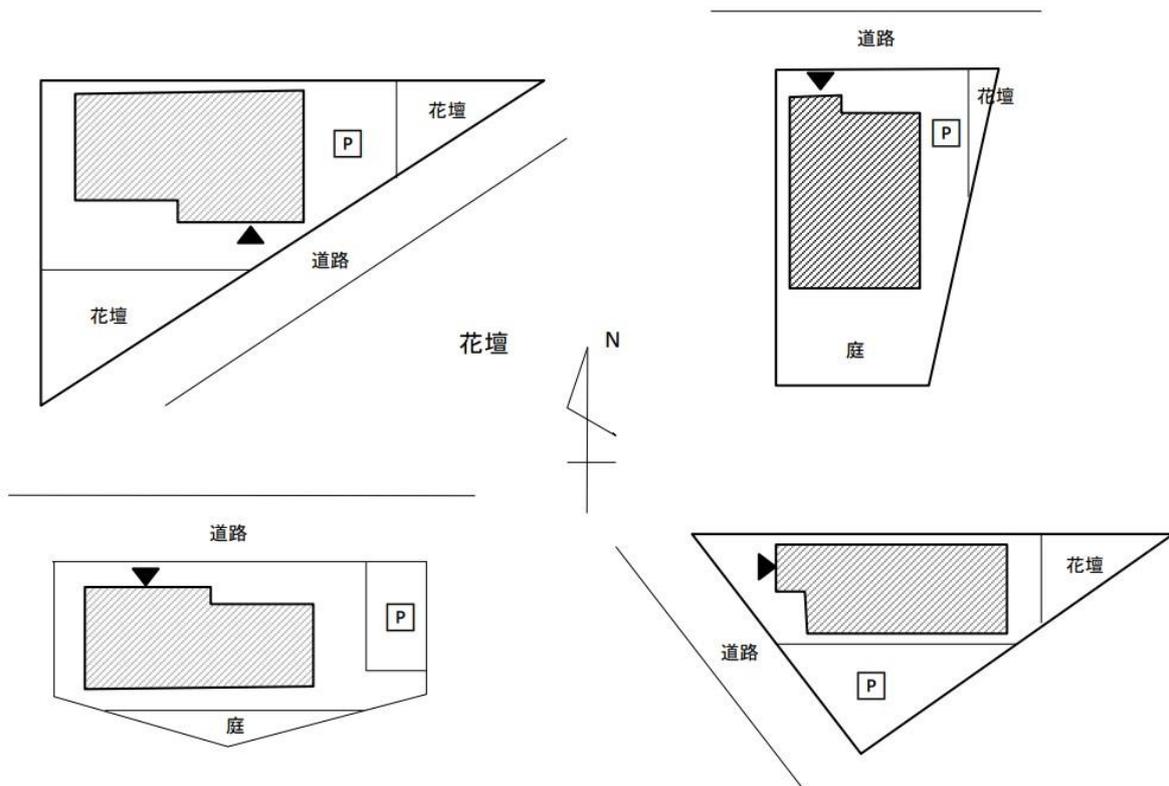
南西の浴室は避けます。台所の最も嫌う場所は南西。つまり午後 2 時の方位です。台所と同じく浴室も避けなければなりません。南西は病門と言われ、水分が家を湿気させ病気を呼ぶからです。

CHECK12. 収納室は陰（北側へ）

外側との影響を妨げる役割を兼ねた場所を選び、北西、北、北東に設けます。特に北西は乾蔵と呼ばれ、財産が貯まると言われます。そして北東（鬼門）も鬼門を遮ることとなり、適することになります。

敷地の選び方

敷地の形は長方形が最も落ち着いて暮らすことのできる敷地です。しかし、なかなか良い敷地に巡り合えない場合が多いものです。そこで、形の悪い土地を設計上、形の良い敷地に矯正して使いましょう。



敷地の形状が三角形とか、多角形の場合、敷地に合わせた設計をするのではなく、あくまで方位と道路付けを見ながら、庭、花壇、駐車場などを上手に配置しましょう。

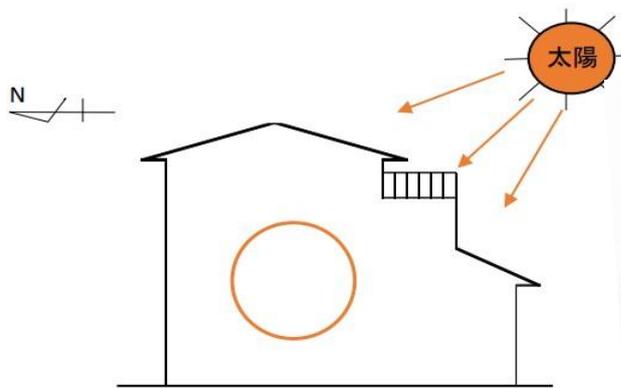
家相 One ポイント

敷地は形も大切ですが、周囲の地形とのバランスも重要です。北に障害物があり、南が開けている土地を選びましょう。絶対に避けなければいけない土地は、南側が高かったり、隣家があって光が入らない土地です。日本の六大都市は太平洋側にあり、日本海側にはないことから理解できると思います。

次頁、地相学を参考にしてください。

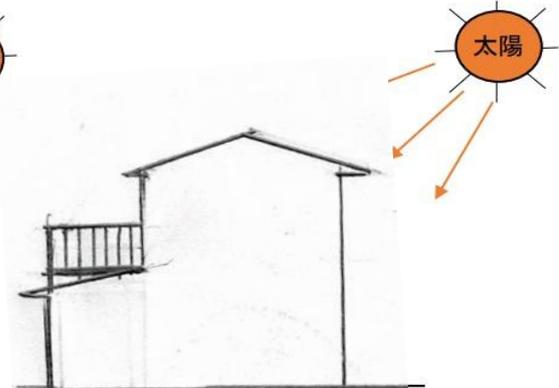
2 階の乗せ方

北から南へ低くなるように 2 階を乗せましょう。



「北に高く南が低い家」

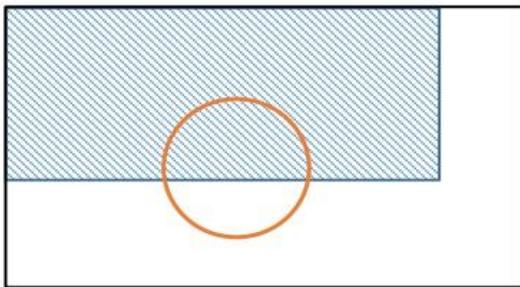
太陽の光が一日中入る
家になります



「北が低く南が高い家」

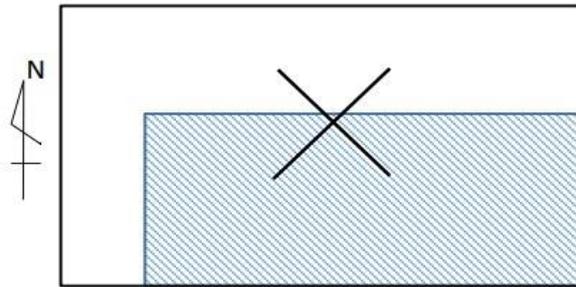
北側のベランダは陽が当たらず
使えなくなります

敷地と家の配置



「北西側寄りにある家」

最も落ち着いた家です。お城の天守閣は必ず大極と言われる方面に設置しています



「東南側寄りにある家」

絶対に避けなければなりません。北側の土地は終日、日が当たらず死地（しにち）になります

地相学による理想の土地

よく「風水」と言われますが、風水とは文字通り風と水です。私たちは風と水により生きていくことが叶います。風は天、水は地でもあります。天は陽、水は陰でもあり、その間に私たちは生かされております。

天地人 天地の間に 我あると 感謝するこそ 人の道なり

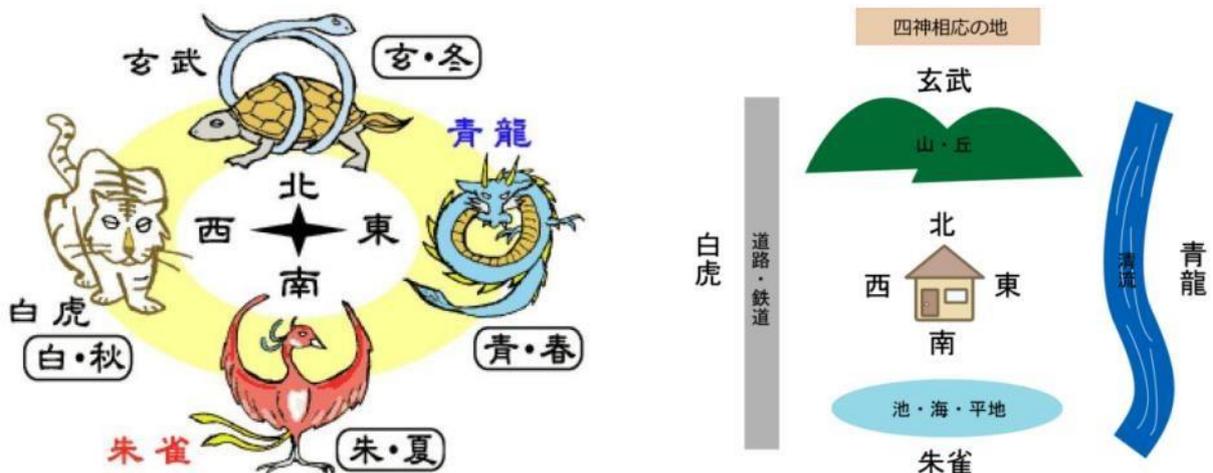
自宅を選ぶ時、地相学の基本である四神相応の土地を求めましょう。

ししんそうおう 『四神相応の土地』

その土地を4つの聖獣が守っており、土地が栄えるという風水の考え方です。

京都・東京・名古屋・大阪など全て四神相応の土地にあります。

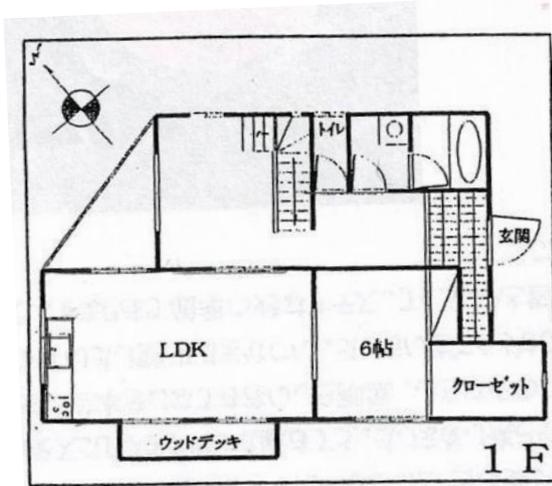
北に山（玄武）、東に川（青龍）、南に海（朱雀）、西に道路（白虎）、がある土地です。日本の大きな都市は太平洋側に集中しています。日本海側は“北の玄武”“南の朱雀”が無いからです。



この考え方を応用してみましよう。土地を選ぶ時、先ず北側に障害物がある方が良い地形となります。南側が開いていることが良い土地の条件となります。

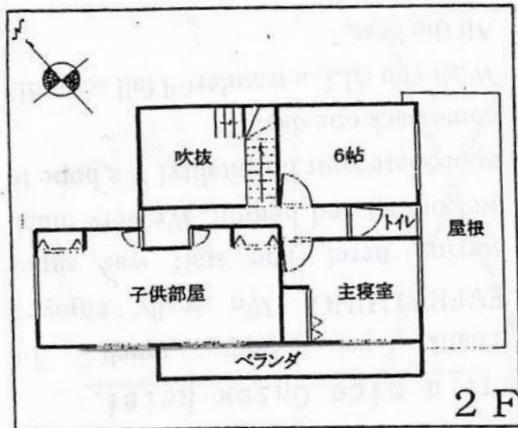
建物についても、北に高く南側が低い建物が理想となります。特に2階は北側に乗せ、2階のバルコニーは南側に作るなどです。

家相学による家相診断（悪い例）



- 大極(北西)が欠け、さらに吹き抜けになっています。主人の座もなく、一家の主がかけるか、居ても主人を中心としない、まとまりの無い家族になりがちです。

- 裏鬼門(南西)で最も嫌う台所を持ってきており、食べ物は腐りやすく、湿気が多くなり、不衛生で長い間に病気になりやすい、まさに「病門」を犯しております。



- 家の東西に線を引いた場合、北が陰、南が陽となります。（陰陽説）陽には水廻りと収納は避けるべきなのですが、この家には台所とクローゼットが配置されています。したがって天地自然のバランスが崩れている事になります。

- 2階の東に主寝室を配置してある為、主人の威厳が保てません。

- 玄関を引っ込めて作っており、自らの顔を大切にしない事になります。

総称

よく言えば「家族がそれぞれ尊重され」悪く言えば「家族がバラバラ」。病気がちな家族になる可能性があります。一家の主を中心とした、安定した幸福な家庭を築くことは難しいように思われます。



間取りプラン集

家相学の考え方にて設計した間取りプランをご紹介します。

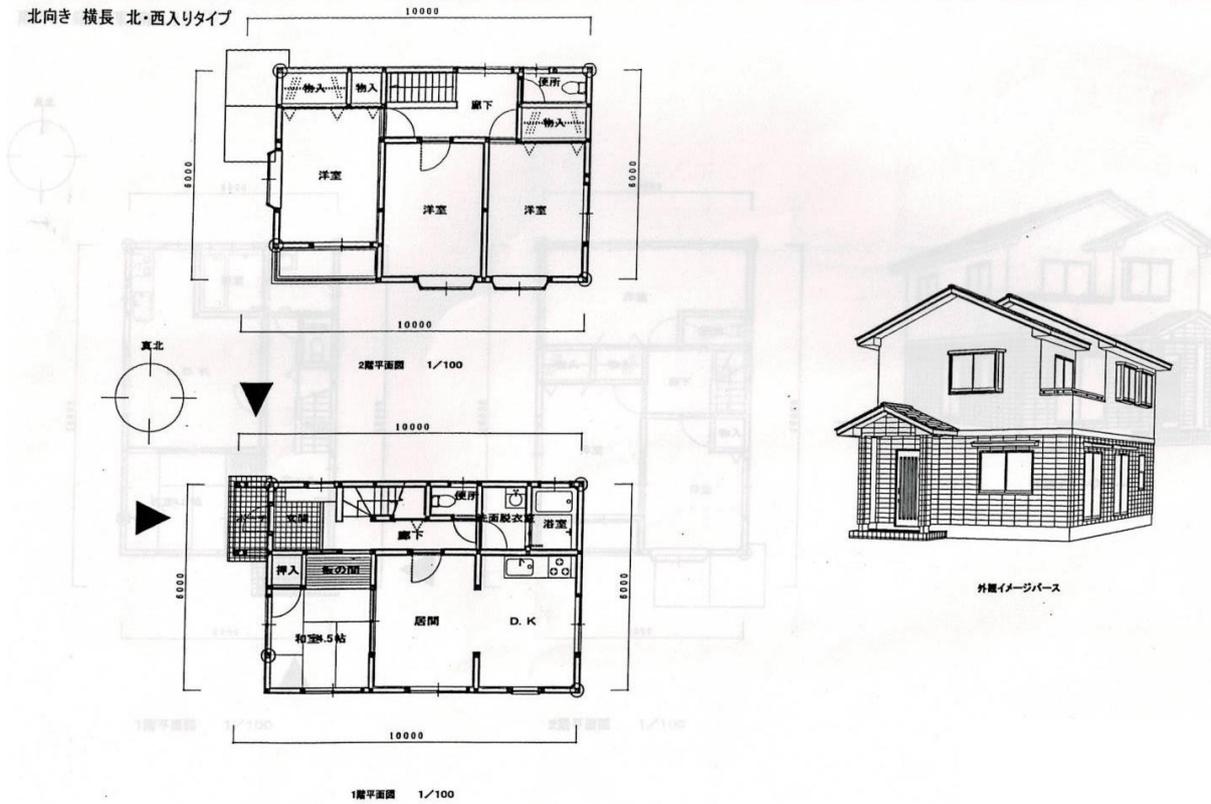
いずれも 30 坪～ 33 坪程度の極、一般的な住宅例です。デザインも凝ったものではなく、基本プランです。この基本プランからそれぞれの家族構成や道路の位置、方位などを考えて夢を膨らませて下さい。

- ① 北向き 横長 北・西道路タイプ
- ② 北向き 縦長 北・西道路タイプ
- ③ 南向き 横長 東・南道路タイプ
- ④ 3F南向き 北・西道路タイプ
- ⑤ 3F南向き 横長 東・南道路タイプ
- ⑥ 3F南向き 横長 東・南道路タイプ



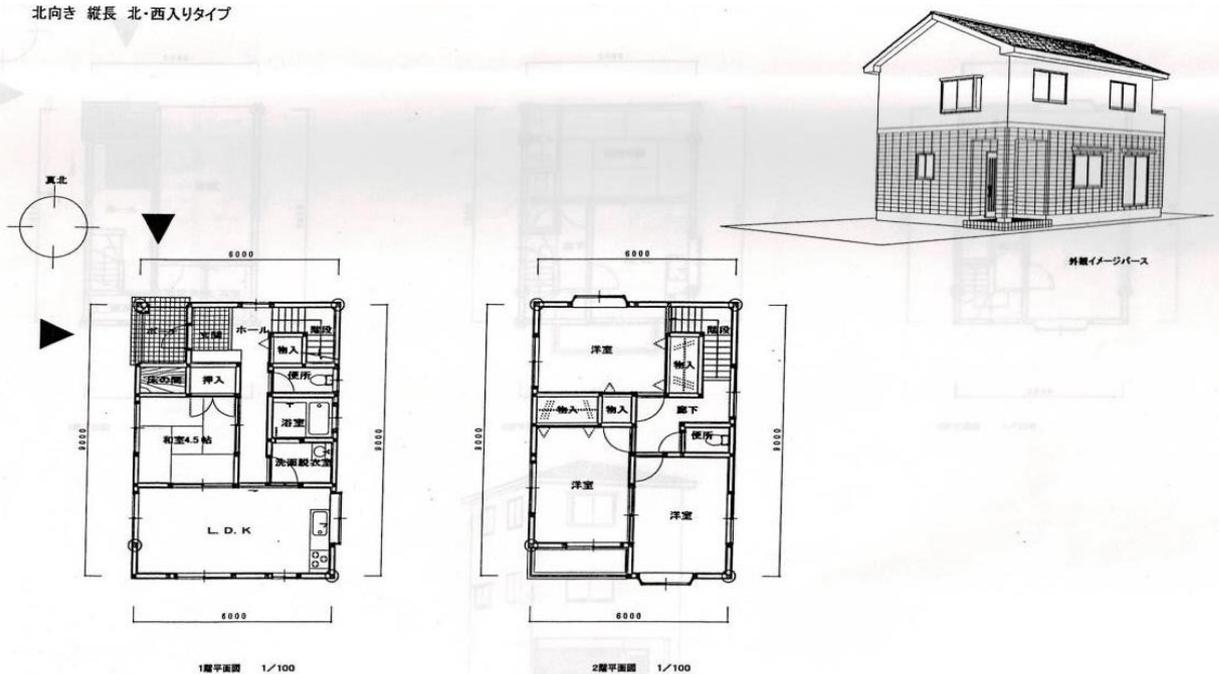
北向き 横長 北・西道路タイプ

北向き 横長 北・西入りタイプ



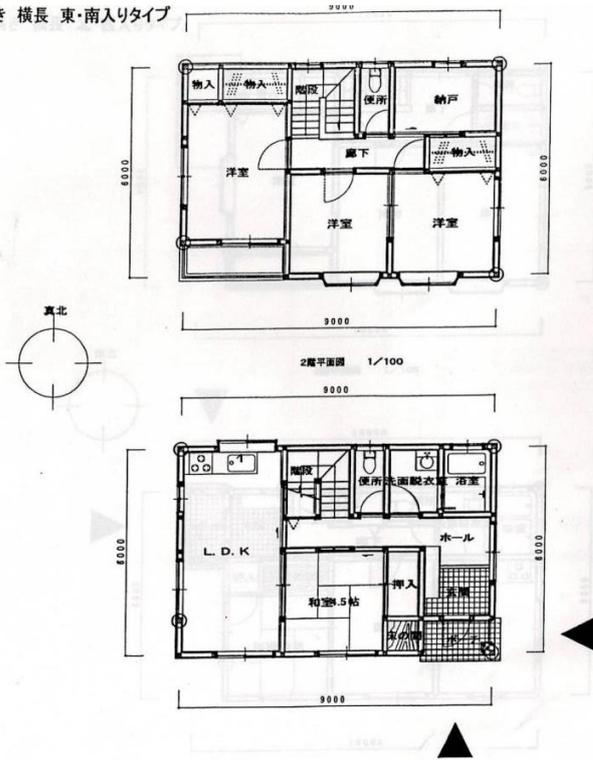
北向き 縦長 北・西道路タイプ

北向き 縦長 北・西入りタイプ



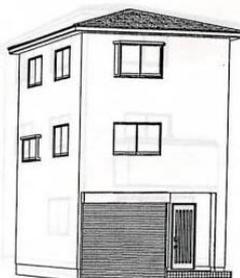
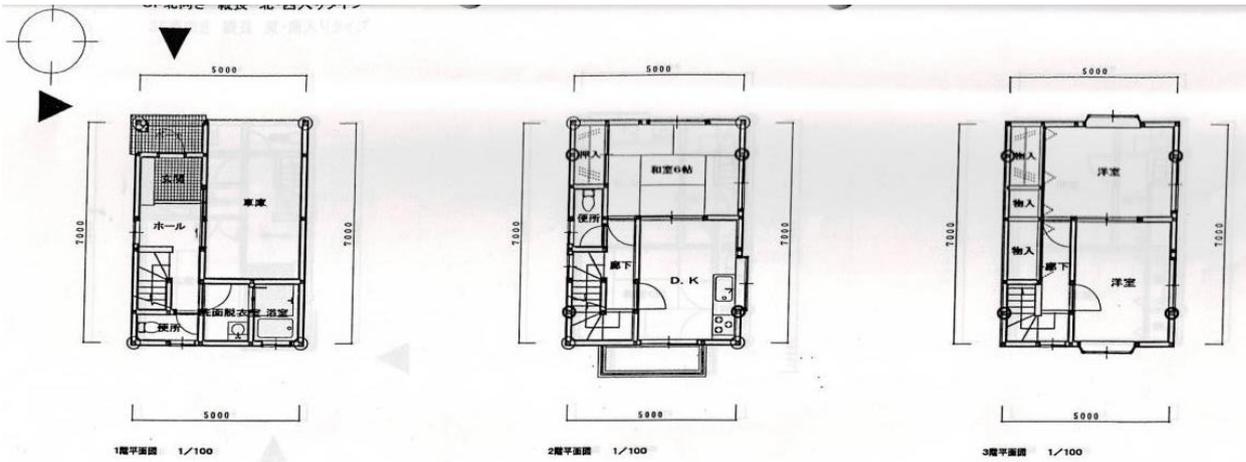
南向き 横長 東・南道路タイプ

南向き 横長 東・南入りタイプ



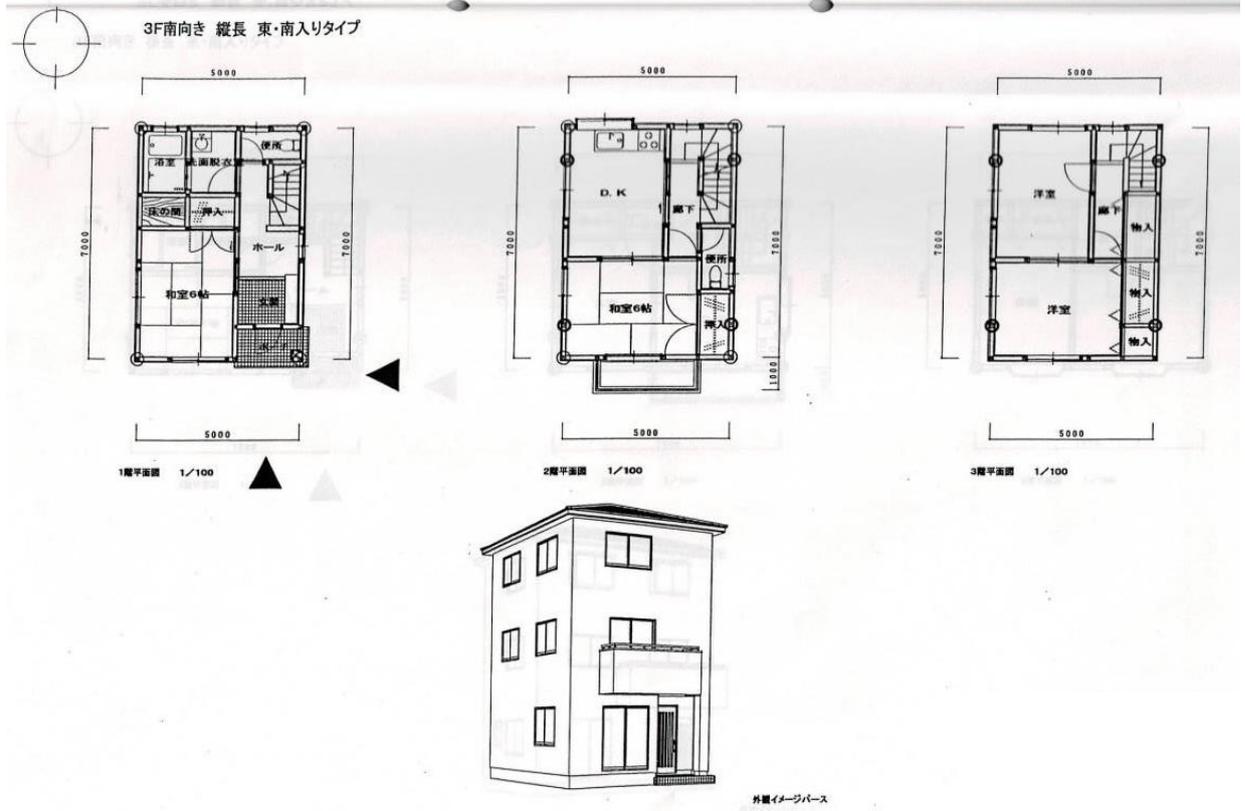
外観イメージパース

3F南向き 北・西道路タイプ



外観イメージパース

3F南向き 横長 東・南道路タイプ



3F南向き 横長 東・南道路タイプ

